# 校長室から(美祢高だより)

美祢市秋芳町大字秋吉5236番地 TEL 0837-62-0144 FAX 0837-62-1303



平成24年5月14日 第 1 号 ....●



# 美祢高等学校は、創立70周年を迎えました



平成24年度がスタートしました。本年度は本校の創立70周年に当たると同時に、美祢高等学校という校名で入学生を迎える最後の年となりました。1年生が「美祢高等学校の最後の学年として立派に締めくくりたい」と決意を述べてくれた時には、胸が熱くなりました。

2年生、3年生もそれぞれ自覚と意欲を持って新しい学年をスタートさせてくれています。授業に部活動に積極的に取り組んでくれている様子を見て、生徒の皆さん一人ひとりの成長を大変うれしく思っています。

今年は皆さんに、「普通科の生徒として、しっかり基礎基本を学んでください」とお願いしました。社会の変化は早く、今まで経験したことのない事態もたくさん起こっている現状の中で、皆さんに大切なのは、少しでもたくさんのことを学ぶことです。教科の学習はもちろんですが、社会のルールについても、人間関係の難しさについても、つまづいても何度でもやり直しの利く今こそ、全力で学んでください。学んだことは何でも皆さんの生きる力につながります。

創立70周年を機に、改めて本校の歴史を読み直してみました。本校の歴史は『山口県立美祢高等学校五十年史』に詳しく書かれています。本校の歩みだけではなく、その時々の時代に思いを馳せながら読むと、この地域の方々がどんなに中等教育の学校(現在の高等学校)を強く望み、本校を自分たちの手で作ってこられたかがよくわかります。随所に同窓生の生の声も記載されているのでとても楽しく読めます。皆さんも是非手にとってみてください。

一つ、とても驚いたエピソードを紹介しましょう。それは、開校して3か月後に台風によって 仮校舎が倒壊したこと、それを自分たちの手で復旧したという事実です。『五十年史』には、次 のように書かれています。人の力のすばらしさを強く感じます。

九月十日から壁土の調製、壁塗り、竹の運搬、竹組み、ワラの積み上げ、屋根葺き作業が始まった。これらの作業も専門家の指導を受けながら、ほとんど生徒の手で進められた。日曜日でも寄宿舎生、秋吉在住の生徒は、屋根葺きの作業にかり出された。(中略)

こうして、台風による校舎倒壊から約1か月、ワラ葺き屋根の校舎ではあったが、生徒の 一致協力のもとに、自力でつくりあげた学び舎がよみがえった。

もう一つはどんな苦労も自分の生きる力に結びついていくと痛感させられるほほえましいエピ ソードです。『五十年史』に出てくる同窓生の手記で紹介します。

大変つらかったことは、服や下着類の修理であった。毎日の作業で衣服がすぐ破れる。破れたまま登校すると、衣服検査で先生から、どやされる?ので、しかたなしに縫わなければならない。慣れない手付きで針と糸を持って苦労した。これにはほとほと閉口した。それでも三年生になると、「習うより慣れろ」の如く、大分上手になってきた。今でも少々のものは縫うことができる。これも、この時代の苦労の賜物だと感謝している。



## 〉校訓・本年度の重点目標

### 「真・誠・健」を校訓とし、

## 平成24年度は、

- 1 一人ひとりを大切にするきめ細やかな教育の推進
- 2 基礎学力の向上とキャリア教育の充実
- 3 地域とのつながりを生かした体験活動の推進

を重点目標にして、一人ひとりの自己実現を支援する取組を進めていきます。

生徒のチャレンジ目標は、

〇 当たり前のことを当たり前にできるようにする

生徒会を中心に取り組んでいる「美祢高プロジェクト」は、学校のチャレンジ目標として、本年度の目標に掲げています。「当たり前のことを当たり前にできるようにする」として、具体的には、「あいさつ」「時間」「服装」について、当たり前にできることをめざしています。過去2年間で、ほとんどの生徒がこれらをきちんとできたと答えている一方、どうしても100%ができたと答えられないことを生徒の皆さんは残念に思っていました。それが今年の目標に結びついたのでしょう。まずは、自分の「当たり前」が他の人に通用するかを見直すところから始めてください。皆さんは社会に出た場合、周りの人に認めてもらえなくてはなりません。「当たり前」のことがきちんとできれば、大抵のことはうまくできるものです。皆さんの頑張りを期待したいと思います。

## ・・・学 校 近 況 報 告・・・



#### ◆情報モラル研修会

4月20日に「スマートフォンと個人情報流出」というテーマで下関工業高等学校教諭の保田裕彦先生に講演をしていただきました。スマートフォンは大変便利ですが、同時に膨大な個人情報をネット社会にさらすことになる危険を丁寧にわかりやすく教えてくださいました。「携帯の使用の責任は学校には負えない」と言われ、携帯を許可している学校にも一石を投じられました。

#### ◆キャリアセミナー

5月10日にキャリアセミナーを開催しました。本校のキャリア教育のスタートメニューです。生徒、教職員、保護者が「厳しい世の中だからこそ『夢』や『やりたいこと』を見つけよう!」というテーマで、(株)タスクエリート代表取締役社長の古江宏治さんのお話を聴きました。夢を叶えた人に共通するのは「素直、勉強家、プラス思考」であると言われたのは印象的でした。



